

没後500年

レオナルド・ダ・ヴィンチの 解剖手稿

—英国ウィンザー城王室図書館所蔵コレクション—

ごあいさつ

《モナ・リザ》や《最後の晚餐》の作者として知られるイタリア・ルネッサンス期の巨匠レオナルド・ダ・ヴィンチ(1452~1519)は、本年(2019年)が没後500年にあたります。

ダ・ヴィンチは絵画のみでなく、建築、天文学、解剖学、幾何学など幅広い分野にわたる手稿を残しており、これら手稿は所蔵者、内容分野等により「アトランティコ手稿」、「パリ手稿」、「鳥の飛翔に関する手稿」、「ウィンザー手稿」等に大別されています。

本学では、「ウィンザー手稿」の復刻版を所蔵しており、この中から解剖学に関するデッサンやスケッチ類を紹介します。

今回展示する資料は、イギリスのウィンザー城王室図書館に所蔵されている「解剖手稿」をきわめて忠実に複製したファクシミリ版で、国際復刻版計画に基づき日本では350部のみ印刷されたものです。

手稿に描かれた解剖図は、当時の医学レベルをはるかに超えたものであり、ダ・ヴィンチの卓越した観察力、描写力、発想力、そして人間に対する飽くなき探求姿勢を彷彿させます。

“万能の天才”レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖学者としての側面に触れていただければ幸いです。

令和元年9月24日

学校法人東京聖徳学園理事長
聖徳大学学長
聖徳大学短期大学部学長
学園長 川並弘純

レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖手稿を読み解く

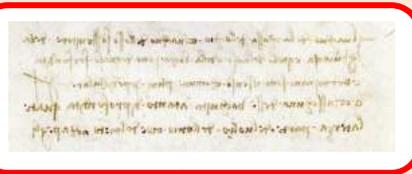
《モナ・リザ》や《最後の晩餐》の作者として知られるイタリア・ルネッサンスの巨匠レオナルド・ダ・ヴィンチ(1452-1519)は、絵画のみでなく、建築学、工学、天文学、解剖学、幾何学など幅広い分野にわたり研究を行っており、これらの研究業績は、現存するだけでも約 5,000 ページにもおよぶ「レオナルド・ダ・ヴィンチの手稿」として遺されている。その中の一つがイギリスのウィンザー城王室図書館に所蔵されている「解剖手稿」である。

この解剖手稿は、1490年頃から1510年頃までの約20年間に描かれたもので、レオナルド・ダ・ヴィンチが 40～60歳ごろのものである。

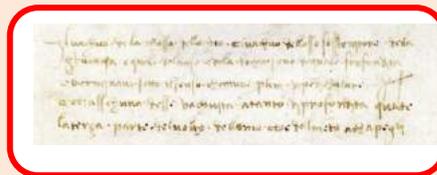
1982年、この手稿をきわめて忠実に複製したファクシミリ版を作製し、同時に、そこに書かれている文字(全て鏡文字)の活字化と注釈を加えた解説書を、英語、イタリア語、日本語で出版した。注釈等の執筆は医師で医学史家のケネス・D・キール博士とレオナルド学の権威カルロ・ペドレッティ教授によるもので、日本語版は裾分一弘・学習院大学名誉教授、山田致知・金沢大学教授らにより和訳された。



解剖手稿 (K&P 42v)※



原本文章(鏡文字)



鏡文字を反転

iluachuo • della • chassa • dellochio • eluachuo dellosso sosstenjtore • della
ghuancja • e quello • del naso • e della • bocha • sono • dequale • fprofondjta
[sic. profundjta]
e ttermjnano • sotto • il senso • chomune • perlinj • perpèdichulare—

ケネス・D・キール博士とカルロ・ペドレッティ教授による注釈

眼の容器〔眼窩〕の空洞や頬を支える骨の空洞〔上顎洞〕、また鼻や口の空洞は同じ深さであり、共通感覚から下した鉛直線状で終わっている—

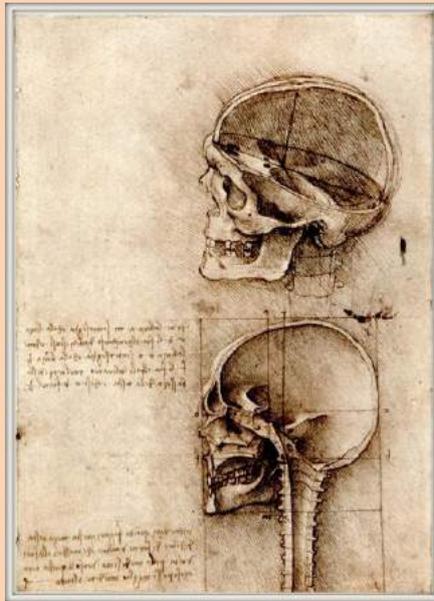
裾分一弘名誉教授、山田致知教授らによる和訳

※ K&P 番号
キール博士とペドレッティ教授は、各解剖手稿の制作年を推定し、年代順に〔K&P 番号〕を付与した。(rは表、vは裏)

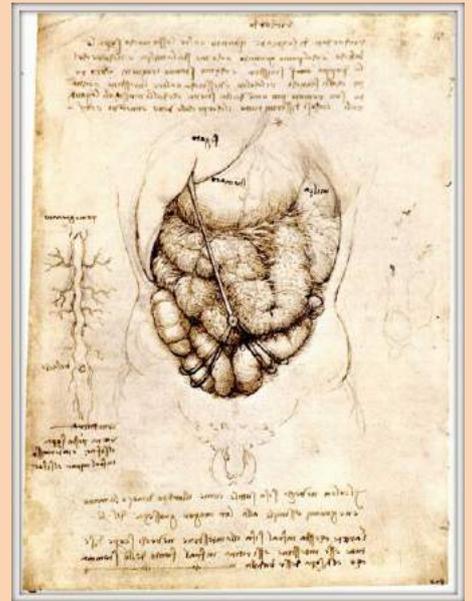
【さまざまな解剖手稿】



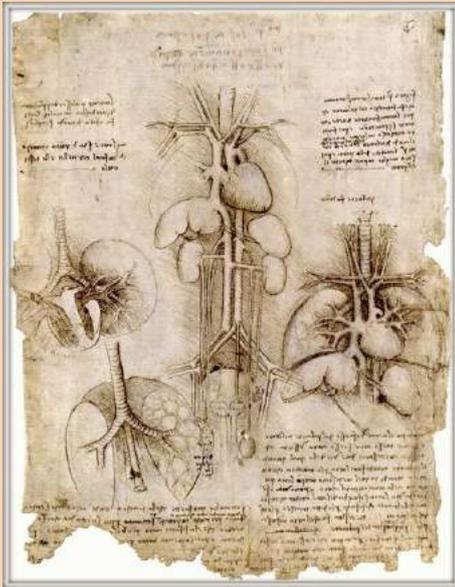
K&P 32r



K&P 43r



K&P 61v



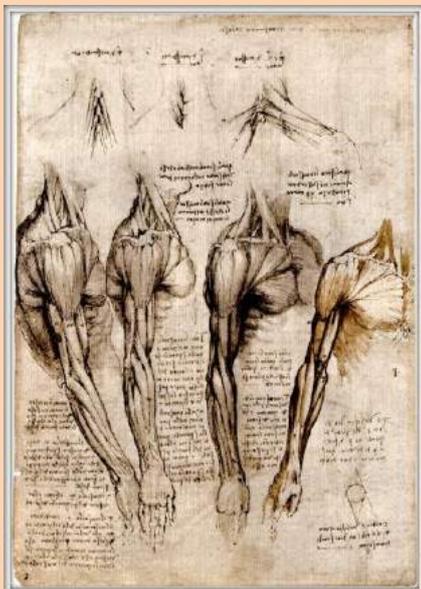
K&P 107r



K&P 134r



K&P 137v



K&P 140v



K&P 143r



K&P 198r

【レオナルド・ダ・ヴィンチの略歴】

西 暦	年齢		事 項
1452 年			4月15日、公証人セル・ピエロ・ダ・ヴィンチと農夫の娘カテリーナとの間にフィレンツェ共和国のヴィンチ村で生まれる。
1466 年	14 歳	第一 フィレンツェ時代	フィレンツェのベロッキオ工房に入門。
1472 年	20 歳		6年間の修業を終え、聖ルカ画家組合に登録。
1473 年	21 歳		自署のある風景素描を残す。 このころ、ベロッキオ作《キリストの洗礼》の一部を制作。
1478 年	26 歳		フィレンツェ政庁から聖ベルナルド礼拝堂の祭壇画の制作を委嘱される。
1482 年	30 歳		ミラノへ移る。ミラノ公ルドヴィーコ・イル・モーロに仕える。
1483 年	31 歳	第一 ミ ラ ノ 時 代	サン・フランチェスコ・グランデ聖堂祭壇画《岩窟の聖母》の制作を委嘱される。
1485 年	33 歳		皆既日食観測。
1489 年	37 歳		解剖学(人体・馬)研究、飛行機設計など。
1490 年	38 歳		光学研究、鳥の飛翔論文執筆。
1494 年	42 歳		河川工事の設計監督に従事。
1495 年	43 歳		《最後の晩餐》に着手。
1497 年	45 歳		数学、骨格構造、地質学、光学を研究。
1499 年	47 歳		ベネチアを経てフィレンツェに戻る。
1500 年	48 歳	第二 ミ ラ ノ 時 代	素描《イザベラ・デステの肖像》、《聖アンナと聖母子》に着手。
1503 年	51 歳		アルノ河水路の変更を計画。《アンギアリの戦い》の下絵に着手。
1504 年	52 歳		7月、父セル・ピエロ死去。
1505 年	53 歳		このころ、名声は頂点に達する。科学研究、解剖学、生物学、全宇宙論などを展開。 鳥の飛翔と立体幾何学を研究。
1506 年	54 歳		ミラノに戻り、フランス総督シャルル・ダンボワーズの官邸に滞在。宮殿礼拝堂の設計。 《岩窟の聖母》第2作に着手。《レダ》構想。《モナ・リザ》はこの頃完成。
1507 年	55 歳	フィレンツェに行く。ルイ 12 世の宮廷画家兼技師に任命される。	
1508 年	56 歳	春、ミラノへ戻る。フランス王の画家兼技師。フランス軍に従事。水流、運河の研究に力を注ぐ。	
1509 年	57 歳	ルカ・パチオーリの「神聖比例論」のデザイン。ミラノ運河の工事に従事。	
1510 年	58 歳	《聖アンナと聖母子》完成？《バッカス像》を描く。解剖学、天文現象を研究。	
1511 年	59 歳	トリブルツィオ将軍記念騎馬像をスケッチ。ミラノの大火をスケッチ。	
1513 年	61 歳	ロー マ 時 代	《レダ》を描く。この頃《自画像》を描く。 9月、ジュリアーノ・デ・メディチに招聘され、メルツィ、サライらの弟子と共にローマへ。
1515 年	63 歳		フランソワ I 世の王室首席画家、建築家、技術家となる。 王の凱旋入場のため、時計仕掛けのライオンを製作。
1516 年	64 歳	アン ボ ワ ー ズ 時 代	フランソワ I 世に招かれ、アンボワーズ城近くのクルーの館が邸宅として与えられた。
1517 年	65 歳		10月、枢機卿ルイジ・ダラゴーナからレオナルドを訪問。大量の手記と3枚の絵画《モナ・リザ》、 《洗礼者ヨハネ》、《聖アンナと聖母子》を見る。
1519 年	67 歳		5月2日死去。遺志により、アンボワーズのサン・フロランタン聖堂で葬儀。

令和元年9月24日(火)～令和元年10月31日(木)

令和元年12月16日(月)～令和2年4月18日(土)

午前9時～午後5時 (休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日)

聖徳大学8号館1階 利根山光人記念ギャラリー

JR常磐線、新京成線松戸駅下車、東口より徒歩5分 (車での来場はご遠慮ください。)